

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —

Care + Nishinigiata Chuo Hospital 2023 January

かれん
vol.
07



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831

<https://nishinigiata.hosp.go.jp/>



message

J1アルビレックス新潟と
難病リハビリテーション

写真はサッカー・アルビレックス新潟のエンブレム(縦横120cm)です。
丹精込めた1000羽を超す折り鶴からできているのが、おわかりいただけますでしょうか。
当院の難病リハビリテーションに通院中の方々が、作業療法の一環として制作してくださいました。
アルビのJ2リーグ優勝とJ1復帰は、新潟の私たちにとってこの上ない喜び。
その晴れ晴れとした気持ちと、これからも応援し続けるぞという気迫がこの作品に込められています。

難病リハビリテーションは、ご自宅で生活していらっしゃる脳神経疾患患者さんに、
集団体操やレクリエーション、創作活動に取り組んでいただく治療です。
運動機能や日常生活機能の低下予防効果があり、
患者さんどうしの交流(ピア・カウンセリング)も生まれます。

新潟を象徴する海の青、
夕日のオレンジ、舞い上がる白鳥。
多くの患者さんの共同作品である
見事なエンブレムは、
私たちに希望あふれる2023年を
予感させてくれます。

国立病院機構 西新潟中央病院
病院長

おおだいら てつろう

大平 徹郎



→
当院の難病リハビリテーション



迎春

本年もよろしく
お願いいたします

かれん

vol.07

Care+Nishinigiata Chuo Hospital
2023 January

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、
西新潟のNを組み合わせてできた名前です。
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように。
そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N person interview

榮森 景子
相場 秀太郎

05

Care+N specialist

入退院支援室 医療ソーシャルワーカー
小泉 久美子
八木 恵

07

Care+N letters

[通所「あかしあ」で季節のイベントを開催]
[2022年度の永年勤続表彰式で7名が表彰されました]
[冬を彩るクリスマスイルミネーション]
[療育指導室のみなさんによる素敵な作品を展示]

09

information

西新潟中央病院

専門的なノウハウを各地の病院で学び
多くの子どもたちを支えてこられた榮森医師と、
システムエンジニアを経てドクターとなった
珍しいキャリアを持つ相場医師。
今回は、2人の小児整形外科医をクローズアップ。

患者さんと対等な立場で
信頼を築いていきたい。
整形外科・小児整形外科
相場 秀太郎

持てる知識と技術を活かし、
子どもの体に最良の治療を。
整形外科・小児整形外科
榮森 景子



成長する子どもの変化を見守りながら

榮森:小児整形外科は整形外科の中の一つの専門分野です。当院では私が赴任してきた2011年に、県内初の小児整形外科ができました。

相場:専門医の数は全国的に少なく、新潟県内では数名しかいません。複数の医師が在籍する病院は当院だけなんです。

榮森:この病院の特性として、脳性まひやてんかんなど神経疾患の子どもが多いので、一般の整形外科の医師が行わないような治療や手術も多いです。

相場:子どもは大人と異なり成長を考慮して治療計画を立てる必要があります、またいったん治療を行った後も長期的にフォローしていく必要があります。



元気になった姿を見るのが何よりうれしい

榮森:大人と違って体が柔らかく、治療の結果が目に見えて表れるのが小児の特徴のひとつ。歩行が困難だった子どもが突然歩けるようになったり、小学校で体育ができるようになったり。

相場:治療力とか自己矯正能は、大人とは全然違いますよね。

榮森:「下肢装具対応の大きな靴を履いていたけど、足が治ってかわいい靴を履けるようになった」とか、そんな話を聞くと、よかったねと思います。

相場:新潟市では全ての乳児に対して股関節検診を行っていて、当院は二次検診医療機関の一つとなっています。赤ちゃんが歩き始めてから異常が見つかる必要があるので、予防のためにも大切な検診だと思います。

榮森:早期発見するほど治療は少なくて済みますし、子どもは治りも早いです。心配のある方は早めに受診していただきたいですね。



治療方針は決めつけず、協力し合って

相場:私が心がけているのは、患者さんと対等な立場であるということ。子どもだからといって態度を変えるのではなく、きちんと向き合っ、理解してもらえよう接しています。

榮森:私も「こうしなきゃダメ」と決めつける言い方は避けますね。親御さんの意見もよく聞いたうえで、自分なりに治療方針を考えます。

相場:珍しい病気だったりすると、他県の小児整形外科の先生に相談することもよくありますよね。

榮森:「こういうケースはどうしたらいいですか?」とメールやオンラインで質問したり。全国の先生方と積極的に交流し、みんなで協力し合っています。

整形外科チームの関係性は良好!

榮森:去年、藤澤 純一先生を含む整形外科医3人で食事に行きました。新型コロナウイルス感染症が拡大したため、先生方が赴任されてから顔合わせ会もできなかったのです。

相場:感染が落ち着いた時期に、初めて集まりましたね。結構まじめな話をした覚えがあります。

榮森:結局仕事の話に…(笑)。おかげで結束力は強まりました。

相場:私たちは手術も3人で行うんです。藤澤先生は小児のご専門ではないですが、必ず一緒に入ってくださいます。

榮森:これからもチームワークを大事にしていきたいと思います!



社会福祉士の国家資格を持ち、医療の現場で働く
医療ソーシャルワーカーは、
入院患者さんが不安に思う退院後の生活について
相談に乗ってくれる、頼れる存在です。
当院で活躍するおふたりに、その心構えを聞きました。

医療ソーシャルワーカー
八木 恵やぎめぐみ
患者さんとの会話を
支援につなげるヒントに。

かれん スペシャルリポート

心配事を抱える患者さんに寄り添い
さまざまな福祉制度や手続きをご提案

八木: 私たちの仕事は、病気を契機に今までの生活が送れなくなった方に対し、社会的・経済的な問題に向けてサポートを行うことです。主に入院患者さんを支援する立場です。

小泉: 退院後も頼るひとがない、医療費の支払いが難しい…といったさまざまな心配事を抱えている方に、福祉制度のご案内などを行っています。

八木: 医療ソーシャルワーカーは、ここ20年ぐらいで全国的にも増えていますね。当院には4人在籍しています。

小泉: 私は呼吸器内科の患者さんをメインに担当しています。

八木: 私は小児科や脳神経外科、整形外科が多いです。退院後も医療的ケアが必要な患者さんを、無事にご家族の元に帰してあげられたときは本当にうれしく感じます。

退院後の不安を軽減できるよう
おひとりおひとりの状況をよく伺って

八木: 普段から心がけているのが、患者さんにこちらの考えを押し付けないこと。特にご年配の方は私たちと経験値も違うし、いろんなご苦労をされてきた人生の先輩です。

小泉: 家族背景や経済状況もそれぞれなので、まずはお話を

よく聞くことですね。退院後は何が不安なのか、また介護サービスを使っている方の場合にはケアマネジャーさんとも話し合い、どのようにサービス再開するかを相談したり。

八木: おひとりおひとり状況が異なるので、支援の仕方も型にはまったものではないんです。

小泉: そこで患者さんご家族が選択しやすい社会資源の提案や助言をしていくのが、私たちの役目だと思っています。

入院中も退院後も安心して過ごしていただきたい
そんな思いで接しています

八木: 今は新型コロナウイルス感染症の予防のため、病棟でもいろいろな制限がありますよね。

小泉: 面会でできず心配されているご家族も多いので、入院中の患者さんのちょっとしたこと、例えば「今日もちゃんとご飯を食べられましたよ」というような、ほっとするエピソードを電話口で伝えています。もちろん病状などは主治医の先生からきちんと報告が行きますが、些細なことでも安心していただきたいくて。

八木: 私は、病室から出られず退屈されている方の話し相手になることもよくあります。会話しながら患者さんの思いを引き出し、その後の支援につなげられたらと思っています。

医療ソーシャルワーカー
小泉 久美子こいずみくみこ
多様な社会資源を提案し
安心の療養生活をお手伝い。

おしえてください! その技術!

Job description

医療ソーシャルワーカーの
仕事とは?

01 看護師さん・医療相談員さんを交えた
ミーティングを毎朝実施。

入退院支援室では、今どんなケースやどんなお困りごとがあるかを毎朝報告し合っています。看護師さんには医療的なアドバイスをもらい、みんなで知恵を出し合っその患者さんに一番いい方法を探します。



02 患者さんやご家族と入院前から関わって
有益な情報提供を行っています。

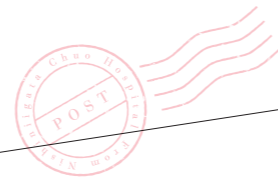
数年前までは退院後の支援だったのが、現在は入院時、もしくは入院前から支援を始める「入退院支援」に。地域・病院・行政が包括的に関わり、できるだけ在宅で生活できるようにという仕組みが変わってきています。



03 ご家族やケアマネさんからの連絡は、
いつでもつながる直通電話で。

患者さんのご家族や外部のケアマネジャーさんからの電話は、各医療ソーシャルワーカーが持つ携帯に直通でかかってきます。退院調整や緊急の連絡などにも、直接話すことでスムーズに対応。





topics 01

秋冬はお楽しみが盛りだくさん！
通所「あかしあ」で季節のイベントを開催



あかしあのハロウィン(10月28日)

お玉に乗せた目玉(ピンポン球)を落とさずに運ぶ「目玉リレー」にハラハラドキドキ！「トリックオアトリート!」では大きなカボチャから伸びたツルについてお菓子がクラッカーを引き当てます。クラッカーが当たったひとは勢いよく鳴らし、イタズラをして大喜びでした。



topics 02

2022年度の永年勤続表彰式で7名が表彰されました

7月27日に行われた本年度の表彰式では、勤続30年5名、20年2名の合計7名に賞状が授与されました。長年の功績を讃えられたみなさん、おめでとうございます。



topics 03

冬を彩る
クリスマスイルミネーション

この冬もエントランスに幻想的なイルミネーションが登場! 色とりどりにきらめくライティングが訪れるひとびとの目を楽しませ、クリスマス気分を盛り上げてくれました。



あかしあ秋祭り(11月25日)

射的やヨーヨー釣りをはじめイベント盛りだくさん! 箱からヒモを引き景品をゲットする「わくわくボックス」では、さまざまなプレゼントをもらい笑顔にあふれました。



あかしあクリスマス(12月23日)

あかしあにサンタさんが登場! クリスマスの幸せな雰囲気の中、楽しいひとときを過ごしました。

topics 04

療育指導室のみなさんによる
素敵な作品を展示

患者さんたちが作った作品の数々が1階廊下に展示されました。職員はなるべく手伝わず、患者さんご本人が工夫を凝らして楽しく作り上げたものばかり。次の展示もお楽しみに。



外来診療担当医表 [2023.1] [受付時間] 8:30~11:30 [休診日] 土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	大平 徹郎	宮尾 浩美 (肺がん外来)	森山 寛史	宮尾 浩美 (肺がん外来)	松本 尚也 (肺がん外来)
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也 (肺がん化学療法)	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂	倉重 理絵	松山 菜穂	倉重 理絵
		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		
	午後 (予約制)		大平 徹郎 (睡眠時無呼吸) (再来のみ)		松山 菜穂 (禁煙外来)	
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	古泉 貴久 (第1、第3、第5) 広野 達彦 (第2、第4)	渡辺 健寛
整形外科	午前	相場 秀太郎	藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)	相場 秀太郎				榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	松原 奈絵	高橋 哲哉	長谷川 有香
	午後 (予約制)		黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
		白水 洋史		伊藤 陽祐	白水 洋史 (再来のみ)	
てんかん科	午前 (予約制)		長谷川 直哉 (新患のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)
	午後 (予約制)			齋藤 奈つみ (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	
神経小児科	午前	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	関 衛順 (再来のみ)	遠山 潤	小林 悠
		山田 慧 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)		三浦 雅樹	放上 萌美
			相馬 規子 (再来のみ)			山田 慧
	午後 (予約制)		遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美	遠山 潤 (再来のみ)	
		関 衛順 (予防接種)	相馬 規子 (予防接種)	関 衛順 (予防接種)	山田 慧 (予防接種)	放上 萌美 (予防接種)
難病リハビリ	9:00~15:00	齋藤 奈つみ	畠野 雄也	大学医/黒羽	若杉 尚宏	小林 彩夏
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。

予約専用窓口 / TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00~17:00) □当日の診療希望(平日9:00~11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付 / 8:30~11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。

□休診日 / 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】

A. 有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B. 坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C. 西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】

越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】

新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue



表紙の話：呼吸ケアサポートチーム・RSTのメンバーをご紹介します

RST(Respiratory care Support Team)とは、呼吸器疾患および呼吸管理が必要な全ての患者さんを対象に、病院・在宅での呼吸療法(呼吸ケア・リハビリテーション)の安全と知識・技術の向上をサポートする多職種協働のチーム。各病棟では、主に人工呼吸器を使用している方や呼吸ケアでお困りの方の手助けを行います。表紙の8人は左から、森山寛史 内科医長、佐藤源 理学療法士、長谷川雄司 理学療法士、矢尾板聖美 慢性呼吸器疾患看護認定看護師、笠原淳 臨床工学技士、木村夕香 呼吸器内科医師、山田健一郎 臨床工学技士、三浦雅樹 神経小児科医師。他に各科の先生方や各病棟のリンクナース、管理栄養士、薬剤師など15名ほどで活動しています。

かれん vol.07 Care+Mishinigiata Chuo Hospital 2023 January

〈発行人〉病院長 大平 徹郎 〈編集人〉深井 和久 服部 真一 高橋 篤史